

大会名称: 平成28年度

第70回千葉県中学校総合体育大会バスケットボール大会

開催場所: 船橋アリーナ Mコート

試合区分: No. 162 男子 決勝

期 日: 2016(H28)年7月30日(土)

開始時間: 14:20

終了時間: 15:40

松葉		○		75		●		48		ちはら台南					
(柏)										(市原)					
				20 -1st- 9											
				23 -2nd- 12											
				17 -3rd- 14											
				15 -4th- 13											
				-OT1-											
				-OT2-											
				-OT3-											
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	a	14	2	4	0	0	4	*	a	10	0	5	0	4
5	*	b	10	0	4	2	3	5	*	b	22	0	10	2	4
6	*	c	6	0	2	2	2	6	*	c	11	3	1	0	2
7	*	d	27	1	11	2	1	7	*	d	2	0	1	0	3
8	*	e	18	1	4	7	3	8	*	e	3	1	0	0	0
9		f	-	-	-	-	-	9		f	-	-	-	-	-
10		g	0	0	0	0	0	10		g	-	-	-	-	-
11		h	0	0	0	0	0	11		h	0	0	0	0	1
12		i	-	-	-	-	-	12		i	-	-	-	-	-
13		j	-	-	-	-	-	13		j	-	-	-	-	-
14		k	-	-	-	-	-	14		k	-	-	-	-	-
15		l	-	-	-	-	-	15		l	-	-	-	-	-
16		m	-	-	-	-	-	16		m	-	-	-	-	-
17		n	-	-	-	-	-	17		n	0	0	0	0	3
18		o	-	-	-	-	-	18		o	-	-	-	-	-
コーチ		coach					0	コーチ		coach					0
合計			75	4	25	13	9	合計			48	4	17	2	17

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

男子決勝は、新人戦、選手権大会と優勝を続けてきた松葉中と、選手権準優勝の大和田中を破って勝ち上がってきた、ちはら台南中との一戦となった。序盤、ちはら台南中は#5滝沢のインサイドを中心に攻撃を組み立てる。対する松葉中は、5人全員の正確なシュートを武器に戦う。一進一退の立ち上がりとなったが、堅いディフェンスと力強いプレーで得点を重ねる松葉中が徐々にリードを広げていく。第2Qに入り、ちはら台南中は#6松井の3Pなどで6点差まで詰め寄る。しかし、松葉中#7築館が第2Qで12得点を取る活躍を見せ、リードをさらに広げて前半を折り返す形となった。後半に入り、ちはら台南中は#6松井の連続3Pと#5滝沢のバスケットカウントで松葉中を追い上げる。しかし、松葉中#4岩本の冷静なゲーム運びが光り、ちはら台南中の追い上げを許さない。最後まで諦めないちはら台南中は、#4藤田、#5滝沢、#6松井が何度も必死にシュートまで持ち込む。しかし、松葉中の正確なシュートは最後まで狂うことなく得点を積み重ね、75-48で松葉中が勝利を収め、柏支部に初優勝をもたらした。最後まで戦い切った両チームの関東大会での活躍が期待される。

大会名称: 平成28年度

第70回千葉県中学校総合体育大会バスケットボール大会

開催場所: 船橋アリーナ Mコート

試合区分: No. 161 女子 決勝

期 日: 2016(H28)年7月30日(土)

開始時間: 13:00

終了時間: 14:10

昭和学院		○		76		●		45		海神					
(市川・浦安)										(船橋)					
				14 -1st- 7											
				25 -2nd- 10											
				16 -3rd- 15											
				21 -4th- 13											
				-OT1-											
				-OT2-											
				-OT3-											
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	a	14	0	7	0	3	4	*	a	13	0	6	1	2
5	*	b	30	3	9	3	3	5	*	b	10	0	4	2	3
6	*	c	10	0	3	4	2	6		c	4	0	2	0	0
7	*	d	8	0	4	0	1	7		d	-	-	-	-	-
8	*	e	6	0	2	2	3	8		e	-	-	-	-	-
9		f	4	0	1	2	0	9	*	f	3	0	1	1	3
10		g	-	-	-	-	-	10	*	g	9	0	4	1	1
11		h	4	0	2	0	1	11	*	h	6	0	3	0	2
12		i	-	-	-	-	-	12		i	-	-	-	-	-
13		j	-	-	-	-	-	13		j	-	-	-	-	-
14		k	-	-	-	-	-	14		k	0	0	0	0	1
15		l	-	-	-	-	-	15		l	-	-	-	-	-
16		m	-	-	-	-	-	16		m	-	-	-	-	-
17		n	-	-	-	-	-	17		n	-	-	-	-	-
18		o	-	-	-	-	-	18		o	-	-	-	-	-
コーチ		coach					0	コーチ		coach					0
合計			76	3	28	11	13	合計			45	0	20	5	12

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

女子決勝は、県総体10連覇を狙う昭和学院中と昨年のリベンジを狙う海神中の対戦となった。県新人大会、県選手権大会に引き続き、3度目の対戦となる。

昭和学院中はオールコートディフェンス、海神中はハーフコートディフェンスでスタート。昭和学院中は#5松尾、#6渡辺のシュートファウル、#4ダリングのジャンプシュートで先攻する。対する海神中は#4遠田のドライブカットイン、#5千のジャンプシュートで応戦する。1Qは14-7昭和学院中がリードで終わる。2Qに入っても昭和学院中の勢いは止まらず、スティールからの速攻や合わせのプレイで得点を重ねる。海神中は#4遠田のスピードを活かしたシュート、#10松本のジャンプシュートで追い上げるが、1対1がなかなか決まらず、39-17の昭和学院中22点リードで前半を折り返す。

3Qは両チームともにディフェンスでよく足を動かし五分五分の戦いを見せる。昭和学院中は#5松尾の3Pを中心に#6渡辺、#7倉林の合わせなどから得点。海神中もターンオーバーから#4遠田、#11小山の1対1で応戦。4Qに入ると昭和学院中が連続して得点を重ね、一気に点差を広げ流れは昭和学院中へ。海神も意地を見せ、#9高橋のローポストからのシュート、#6宮崎のベースライン際からのジャンプシュート、ワンマン速攻で追い上げるが、前半の得点差が最後まで響き、76-45で昭和学院中が10連覇を達成した。両チームともそれぞれの持ち味を出し切った好ゲームとなり、会場から選手たちに対し、惜しめない拍手が送られた。両チームの関東大会での活躍が期待される。

大会名称: 平成28年度

第70回千葉県中学校総合体育大会バスケットボール大会

開催場所: 船橋アリーナ Cコート

試合区分: No. 160 男子 準決勝

期 日: 2016(H28)年7月30日(土)

開始時間: 10:20

終了時間: 11:30

ちはら台南 (市原)							○ 62	15 -1st- 11 16 -2nd- 15 17 -3rd- 12 14 -4th- 11 -OT1- -OT2- -OT3-	● 49	大和田 (八千代)						
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	
4	*	a	14	0	7	0	2	4	*	a	4	0	2	0	0	
5	*	b	24	0	10	4	2	5	*	b	0	0	0	0	1	
6	*	c	3	1	0	0	2	6		c	-	-	-	-	-	
7	*	d	14	1	5	1	2	7	*	d	14	1	5	1	0	
8	*	e	7	1	2	0	2	8		e	-	-	-	-	-	
9		f	-	-	-	-	-	9		f	-	-	-	-	-	
10		g	-	-	-	-	-	10		g	-	-	-	-	-	
11		h	-	-	-	-	-	11		h	8	1	2	1	1	
12		i	-	-	-	-	-	12	*	i	4	0	2	0	1	
13		j	-	-	-	-	-	13	*	j	9	1	3	0	0	
14		k	-	-	-	-	-	14		k	0	0	0	0	0	
15		l	-	-	-	-	-	15		l	10	0	5	0	3	
16		m	-	-	-	-	-	16		m	-	-	-	-	-	
17		n	-	-	-	-	-	17		n	-	-	-	-	-	
18		o	-	-	-	-	-	18		o	-	-	-	-	-	
コーチ coach							0	コーチ coach							0	
合計			62	3	24	5	10	合計			49	3	19	2	6	

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

第2シードの大和田中と第3シードのちはら台南中の決勝戦をかけた戦い。お互いにハーフコートのマンツーマンディフェンスでスタート。ちはら台南中は#5滝沢のインサイドを中心に攻撃を仕掛ける。大和田中は速い展開で攻撃を仕掛けるがなかなか点に結びつかない。#5滝沢のゴール下で連続得点を重ねるちはら台南中に対し、大和田中も#7中森のドライブイン、速攻で連続得点。また、オフェンスリバウンドやルーズボールをものにし何度も攻撃のチャンスを作る。ちはら台南中も#6松井、#7金森の3Pで差を縮めさせない。第2Qは互角の戦いをし、31-26のちはら台南中5点リードで前半を折り返した。

第3Q、ちはら台南中#8安孫子の3Pが決まるが、そこからお互いに得点が伸びない時間が続く。残り5分を切ってから、ちはら台南中#5滝沢のインサイドや#8安孫子のアウトサイドシュートが決まると、大和田中も#13大石、#7中森の3Pで対抗。48-38の10点差で最終Qを迎える。

第4Q、ちはら台南中の#4藤田、#5滝沢が得点し、14点差となったところで、大和田中がタイムアウト。タイムアウト後、大和田中はオールコートのマンツーマンでプレッシャーをかけ始めるが、ちはら台南中も落ち着いた試合運びをし、なかなか差を縮めることができない。ちはら台南中が最後まで落ち着いた試合運びをし、決勝進出を決めた。敗れはしたが、大和田中も最後まであきらめずにボールを追う姿が光った。両チームとも関東大会での活躍が期待される。

大会名称: 平成28年度

第70回千葉県中学校総合体育大会バスケットボール大会

開催場所: 船橋アリーナ Aコート

試合区分: No. 157 女子 準決勝

期 日: 2016(H28)年7月30日(土)

開始時間: 09:00

終了時間: 10:05

昭和学院		○		78		●		38		妙典					
(市川・浦安)										(市川・浦安)					
				14 -1st- 12											
				22 -2nd- 6											
				28 -3rd- 10											
				14 -4th- 10											
				-OT1-											
				-OT2-											
				-OT3-											
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	a	2	0	1	0	0	4	*	a	5	1	1	0	4
5	*	b	14	0	4	6	1	5	*	b	8	2	1	0	1
6	*	c	10	0	5	0	0	6	*	c	6	0	3	0	0
7	*	d	2	0	1	0	0	7	*	d	8	0	4	0	1
8	*	e	12	0	6	0	0	8		e	-	-	-	-	-
9		f	15	0	7	1	1	9		f	0	0	0	0	0
10		g	2	0	1	0	3	10		g	3	0	1	1	4
11		h	13	0	5	3	1	11	*	h	0	0	0	0	0
12		i	0	0	0	0	0	12		i	0	0	0	0	0
13		j	0	0	0	0	0	13		j	0	0	0	0	0
14		k	0	0	0	0	0	14		k	-	-	-	-	-
15		l	0	0	0	0	0	15		l	6	0	3	0	1
16		m	0	0	0	0	0	16		m	2	0	1	0	0
17		n	0	0	0	0	0	17		n	0	0	0	0	0
18		o	8	0	4	0	1	18		o	-	-	-	-	-
コーチ		coach					0	コーチ		coach					0
合計			78	0	34	10	7	合計			38	3	14	1	11

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

女子準決勝は第1シード昭和学院中と第4シード妙典中の同支部対決となった。両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。試合開始から両チームとも固い守りで簡単に得点を許さない。昭和学院中は#5松尾を中心としたカットインや身長差のあるインサイドへの合わせで得点。リバウンドやブロックショットも冴え序盤優位に立つ。一方の妙典中はオフェンスリバウンドへの飛び込みやボックスアウトで粘りを見せ、ドライブや3Pで得点につなげる。第2Q、妙典中はランプレーで昭和学院中の守りを崩しにかかるが、シュートが決まらず苦しい展開。昭和学院中は第1Q同様、安定したオフェンス力を見せ、#6渡辺、#8砂川、#11花島のインサイドなどから徐々に点差を広げる。第3Q、妙典中は#5磯辺の3Pで先制。その後は昭和学院中がカットインとゴール下で14連続得点、一気に突き放した。タイムアウト後、妙典中が#4石戸野のドライブなどで粘りを見せるが、昭和学院中の勢いは止まらない。第4Q、両チームとも走りを生かした速い展開のバスケットを見せる。妙典中は全員でゴールを狙うが、昭和学院中が#18藤本を中心にシュート力で勝利、試合を優位に進め、78-38で勝利。第1シードにふさわしい力で見事決勝進出を決めた。最後まで粘り強く戦った妙典中の関東大会での活躍にも期待したい。

